

議会のあり方調査特別委員会・広聴検討分科会記録	
開 会 年 月 日	平成29年 3 月 23 日
開 会 時 刻	午後 1 時 40 分
閉 会 時 刻	午後 1 時 56 分
出 席 委 員 名	◎宿 典泰      ○野崎 隆太      上村 和生      野口 佳子
	黒木騎代春      西山 則夫      工村 一三      世古口新吾
	中山 裕司
	浜口 和久 議長
欠 席 委 員 名	—
署 名 者	
担 当 書 記	
審 査 案 件	1 議会報告会（意見交換会）について
	・皇學館大学との意見交換会実施へ向けた協議経過について
説 明 者	議会事務局次長、調査係中野主事

## 会議の概要

宿分科会長が開会を宣言し、直ちに会議に入り、当分科会の検討項目「議会報告会（意見交換会）」を議題とし、「皇學館大学との意見交換会実施へ向けた協議経過について」事務局から報告があり、今後の予定について協議した内容は以下のとおりでした。

## 協議の内容

### 1 議会報告会（意見交換会）について

（皇學館大学との意見交換会実施へ向けた協議経過について）

・本件については、昨年の分科会において、皇學館大学の学生との意見交換会実施へ向け検討していくことを全委員が了承し、大学への打診を正副会長に一任されていたため、これまでの協議経過を、別紙配布資料にて事務局から報告がなされた。

→今後について

・皇學館大学の学生との意見交換会実施へ向けた今後の予定として、大学側から学内の地域課題学習（C L L活動）の一つとして、一緒に取り組めればとご提案いただき、委員からもこの大学の活動を称賛との意見もあり、全委員がその主旨を了承し、その方向で実施へ向けた協議調整を進めていくことで確認した。

以上のとおり、分科会においてこれまでの協議経過が確認され、皇學館大学との1回目の意見交換会を6月5日の週に実施できるよう、正副会長を中心に協議調整を進めていくことを全委員が了承し、具体的な開催予定等が整い次第、会長から委員へ連絡することを伝え、本日の分科会を閉会した。

上記署名する

平成 29 年 3 月 23 日

分科会長

【別紙：配布資料】

## 皇學館大学との意見交換会実施へ向けた協議経過

平成 28 年 8 月 16 日：広聴検討分科会

議会報告会（意見交換会）

選挙権の引き下げもあり、高校生等若い世代との意見交換会を実施検討。

平成 28 年 11 月 7 日：広聴検討分科会

今後の広聴のあり方について

（本分科会の検討事項となっている議会報告会・意見交換会について協議）

選挙権が 18 歳になったことや、若い世代に政治や行政に関心を持ってもらうために

皇學館大学へ話をもっていくことも、前向きに検討していくことを確認した。

平成 28 年 11 月 28 日：広聴検討分科会

今後の広聴のあり方について

（議会報告会、意見交換会の実施について）

成人式の実行委員会さんとの意見交換会実施が厳しい状況であり、本年実施した商工会議所との意見懇談会のように、特定の団体や皇學館大学の学生など、実施へ向けた検討をしていく必要があり、会長から正副の方で一度、皇學館大学（高校）へ相談に行くことを提案され委員全員から一任された。

平成 28 年 12 月 19 日：皇學館大学を訪問（正副会長、事務局）

地域連携推進室 森 課長様に当市議会から意見交換会を実施したい主旨を説明し、学内で一度検討していただくこととなった。

平成 29 年 1 月：メールにて

皇學館大学から、意見交換会の開催を前向きに検討する返事あり、有意義な会を開催するために、学生さんが受身にならないようなテーマで実施できればとのこと。

平成 29 年 2 月 20 日：皇學館大学を訪問（事務局）

意見交換会の実施に向けた相談で、参加する学生について、学内の地域課題学習支援室で C L L 活動（学生が地域の皆さんと一緒に伊勢志摩地域の課題解決体験を通して、キャンパスでは学べないことを学ぶプログラム）担当する池山助教を紹介された。

平成 29 年 3 月 17 日：皇學館大学を訪問（正副会長、事務局）

地域連携推進室 森 課長及び池山助教と面談し、最初の意見交換会を 6 月 5 日の週に開催予定とし、実施主体は伊勢市議会として、学内の「伊勢志摩定住自立圏共生学」教育プログラムによる人材育成の一環で、C L L 活動の一つとして実施できればとの相談があった。